

神戸地区支え合いネットワーク協議会・神戸地区交流の館『北斗の館』運営委員会が N-1グランプリ獲得!!

2023年1月27日(金)伊賀市ゆめポリスセンターでN-1グランプリ in 伊賀城和2022表彰式が開かれ、栄えあるグランプリに神戸地区支え合いネットワーク協議会・神戸地区交流の館「北斗の館」運営委員会が選ばれました。

N-1グランプリは、2021年に4市町村(伊賀市、京都府笠置町、南山城村、奈良県山添村)の主催で始まり、「自分たちの活動を多くの人に知ってもらいたい」「活動する仲間を増やしたい」という思いを込めた活動紹介パネルを作成・展示し、地域で活動する団体をより多くの人に知ってもらい住民自らが団体を応援する事業で、今回は2回目です。

今回は、初参加の7団体を含む15団体がパネル出展し、各市町村の会場でパネル展示とグランプリ投票が実施されました。

神戸地区交流の館『北斗の館』は、2021年9月に農協の「神戸ふれあい店」が閉鎖されたことにより、その空きスペースを利活用して「神戸地区を元気にしよう」との思いから、2022年4月にオープンした憩いの場「たまり場」です。

毎週金曜日に「コミュニティカフェ」を開き、参加費200円でコーヒーとお菓子を提供し、落語や演奏会などのイベント、講座や映画鑑賞会を開催しています。

また、第1・第3金曜日には農産物直売所「かんべいきいき市」を開き、新鮮で安価な野菜を販売し住民の交流を深める場となっています。

「北斗の館」を運営するスタッフは、今回グランプリを受賞して、「びっくりです、これからも皆で力を合わせて頑張ります」と抱負を語っていました。



Congratulations



岡本市長から表彰される協議会



表彰された団体の方々





活動紹介パネル



神戸地区交流の館「北斗の館」

閉鎖後のJA支店を地域の交流拠点に！

伊賀市神戸地区では、農協の支店再編計画により支店が令和3年9月に閉鎖され、空き店舗となりました。また、小学校の統廃合が令和5年4月に決定され、少子高齢化に拍車がかかっている状況です。

そのため、「JAの空き店舗を利活用して、神戸地区を元気にしたい」と、令和2年より、神戸地区支え合いネットワーク協議会役員会で検討を始め、その後利活用に賛同する方々を地区広報や口コミで募り、24名のメンバーの運営委員会を令和3年10月に発足し、交流拠点の名称を「北斗の館」と名付け、令和4年4月1日のオープンを目指し、取り組みを進めてきました。



手作りの交流拠点づくり

「北斗の館」の拠点づくりは、運営委員会スタッフの掃除から始まりました。そして、剥げていた床の塗装、暗幕やカウンター等を手作り、そして備品はスタッフの持ち寄りと社協の備品補助を活用し、コミュニティカフェの雰囲気を感じてもらえるよう整備しました。



コミュニティカフェ

「かんべ陽だまりカフェ」



第1週金曜日実施のイベント

忍にん体操による健康づくり

月4回のコミュニティカフェを開設。参加費200円でコーヒーとお菓子を提供。第1週をイベント、第3週を健康講座や映画鑑賞会を開催しています。

★開設日★
毎週金曜日
(月4回)
9:30~11:30
参加費/200円

農産物直売所「かんべいきいき市」



新鮮・安価な農家の野菜や鳥羽市答志島の「ちりめんじゃこ」などを販売しています。

★開設日★
毎週第1・第3金曜日(月2回)
9:30~11:30

「北斗の館」の目指すべき姿

- ◎地区民が気軽に立ち寄り、様々な人が集い、楽しむことができる「たまり場」となるような自由な空間を目指します。
- ◎コミュニティカフェ「かんべ陽だまりカフェ」や農産物直売所「かんべいきいき市」などの事業活動により元気で生き生きとした地域づくりを目指します。
- ◎忍にん体操などの介護予防活動により心身機能の低下の予防を推進します。



運営主体

神戸地区支え合いネットワーク協議会

神戸地区交流の館「北斗の館」運営委員会

※協議会役員及び利活用賛同者24名で構成